

市長記者会見

期 日 平成29年6月27日（火）

時 間 午前10時～

場 所 執行部控室

発表内容

- 1 新潟開港 150 周年記念事業のロゴマーク決定について
(2019 年開港 150 周年推進課)
- 2 中央区役所移転に伴う窓口サービスの一元化について (中央区総務課)
- 3 ちょいしおプロジェクト「野菜 de ちょいしおメニュー」の提供について
(保健所健康増進課)
- 4 新潟インターナショナルダンスフェスティバル 2017 の開催について
(文化創造推進課)
- 5 水と土の芸術祭2018基本計画に係る市民意見の募集について
(文化創造推進課)
- 6 第 10 回「千の風音楽祭」出演者の募集について (文化政策課)
- 7 ふるさと新潟市応援寄附金の取り扱いの変更について (総務課)

- ※ ミズベリング信濃川やすらぎ堤 2017 について (まちづくり推進課)
- ※ にいがた未来ポイント事業のリニューアルについて (保健所健康増進課)
- ※ クルーズ客船「コスタ・ネオロマンチカ」の新潟港寄港について
(国際・広域観光課)

新潟開港150周年記念事業のロゴマーク決定について

■趣旨

新潟は、1869年1月1日（明治元年11月19日）に、佐渡夷港（現在の両津港）を補助港として開港し、2019年1月1日に開港150周年を迎える。

みなとまち新潟の理解促進と機運醸成を図り、地域の人々が一体となって記念事業に取り組み、国内外に幅広くPRしていくためのシンボルとして、ロゴマークを作成。ポスター、WEBサイトや屋外バナーなどの広報媒体、イベント等に広く活用し、記念事業のPRを進めていく。

■ロゴマーク



○ロゴコンセプト

黄色いリボンは、灯台のサーチライトが未来を照らし、人々を導くフラッグになるとともに、ヒト、モノ、情報が集まり、「出会う」ことによって新しさが生まれ、更新される広がり表現している
その上に Niigata や新しい=New のNが浮かび上がる。
また、港らしさを碇マークが表している。
更に、信濃川、阿賀野川、日本海を水色の三本線で表現し、港らしさを表現。

○デザイナー

谷本尚子（たにもと・なおこ／博報堂）

受賞歴は、Times Asia ・AD STARS 受賞 等

■キャッチコピー

S t a r t i n g p o r t

みんなで作る、みなとまち新潟スタート！

○ステートメント

いつ訪れても新しい。訪れるたびに発見がある。

そして、ふとした時に思い出す。

めざすのは、そんな変わり続けるみなとまち。

港から川へ、そして街へ。

人、モノ、情報、文化、歴史、感情、情熱、息づかい…。

あらゆるものが行き交い、出会い、融合し、

またときにはぶつかりながら、新しいエネルギーが生まれていく。

みなとまち新潟は、

ここに暮らす人とここを訪れる人、みんなで作る運動体。

新潟開港 150 周年。あなたといっしょに、新しいスタートをきります。

○コピーライター

志水雅子（しみず・まさこ／博報堂）

受賞歴は、カンヌライオンズ 金賞、銀賞、銅賞／アジア太平洋広告祭
(AD FEST) グランプリ、金賞、銀賞、銅賞／ニューヨーク ADC 金賞 等

■その他

新潟開港 150 周年のホームページ（プレ版）を平成 29 年 7 月 7 日に
公開予定。（URL：<http://nii-port.com>）

お問い合わせ先

新潟開港 150 周年記念事業実行委員会 事務局

（2019 年開港 150 周年推進課 担当：刈谷、山田）

電話：025-226-2162（直通）

参考

新潟開港 150 周年記念事業の今後の広報展開について

平成 29 年 6 月 27 日 ○ロゴマーク・キャッチコピー発表
⇒ポスター等を制作し、掲出

平成 29 年 7 月 7 日（予定） ○ホームページ（プレ版）公開予定
⇒この夏に、主に港エリアで行われる
イベントを掲載
（その後、順次コンテンツを掲載）

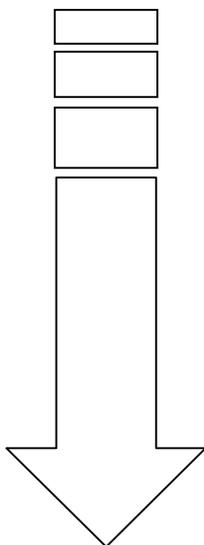
平成 29 年 7 月 9 日 ○「市報にいがた」に特集ページ掲載

平成 29 年 8 月以降 ○開港 150 周年事業のサポーター制度
を構築

⇒市民、企業・団体等幅広い方々に参画
してもらえる運動体とする
⇒著名人の参画も検討中

○みなとまち新潟ブランドの開発

⇒広く企画やアイデアを集める
仕組みを検討



平成29年6月27日
新潟市中央区役所

中央区役所移転に伴う窓口サービスの一元化について

- 趣 旨
中央区役所の移転に併せ、区民生活課、健康福祉課、及び市税事務所市民税課の業務の一部を集約し、市民の利便性や満足度の更なる向上を図るとともに、窓口業務の効率化を目指し、NEXT21の2階に窓口サービス課を新設する。
- 開設日
平成29年8月14日(月)
- 業務内容
- ・届出窓口
ライフイベント（住所変更、出生・婚姻などの戸籍届出）発生時に、関連する保健福祉の手続きを一括して処理（ワンストップ化）する。
 - ・証明書発行窓口
住民票や市税の証明書の発行など、比較的短時間で完了する窓口を集約する。

※レイアウト等は別紙参照

お問い合わせ先

新潟市中央区役所 山賀

電話025-223-7086（直通）

平成29年6月27日
新潟市保健所健康増進課

ちよいしおプロジェクト
「野菜 de ちよいしおメニュー」の提供について

- 趣 旨 本市で死亡率の高い脳血管疾患及び胃がんの予防に向け、市民の減塩意識の向上を図るため、農家レストランにおいて市内産農産物を活用した「野菜 de ちよいしおメニュー」の提供を行う。
- 実施場所 ラ・トラットリア エストルト
(新潟市北区新崎 2757)
- 実施期間 平成29年7月1日(土)～同年8月31日(木)
- 提供メニュー 農家レストランと新潟県立大学の学生が連携して考案



①タカギのフレッシュトマト
と夏野菜のタコライス
1,080円(税込)



②タカギのカラフルトマトの
ジェノベーゼ
1,188円(税込)

- メニュー発表会
- ・日時 平成29年6月29日(木) 16:40～17:30
 - ・会場 ラ・トラットリア エストルト
 - ・内容 趣旨説明
市長，新潟県立大学の学生や報道機関などによる試食

【お問い合わせ先】

新潟市保健所健康増進課 瀧澤
電話025-212-8150(直通)

新潟インターナショナルダンスフェスティバル2017 (NIDF2017)
の開催について

- 趣 旨 東アジア文化都市を契機として取り組んできた都市間文化交流を継続・発展させるとともに、本市の舞台芸術の取り組みを国際発信するため、海外の舞踊団を招き公演やシンポジウム等を開催する。
- 2015年の開催に続き2回目の開催となる今回は、中国・韓国に加え、シンガポールの舞踊団も招聘し、本市における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの主要事業として位置づける。
- 実施時期 平成29年9月26日(火)～12月17日(日)
- 会場 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館
- プログラム 9月29日(金) 大邱市立舞踊団 [韓国・大邱広域市]
10月8日(日) T.H.E ダンスカンパニー [シンガポール]
10月15日(日) 城市当代舞踊団 [中国・香港]
12月15日(金)～17(日) Noism1 [日本・新潟市]
12月17日(日) シンポジウム [各舞踊団芸術監督] (無料)
- 料金 金 一般：4,000円 / U25 (25歳以下)：3,200円
※2演目以上のチケットを同時に購入で2割引
- チケット発売 平成29年7月27日(木)～
・りゅーとぴあ
・e+ (イープラス)

お問い合わせ先
新潟市文化創造推進課 (担当 佐久間)
電話025-226-2554(直通)

NIIGATA INTERNATIONAL DANCE FESTIVAL 2017

新潟インターナショナルダンスフェスティバル(NIDF)は、新潟市で開催する国際舞踊フェスティバルです。二回目となる今回は、新潟市が誇るりゅーとぴあ専属舞踊団Noismと同じく、プロフェッショナルに活動を継続している、韓国・シンガポール・中国の舞踊団が新潟に集います。それぞれの環境で創造された舞踊作品、ワークショップやシンポジウムなどを通して、「世界から新潟へ—アジアの現在に会う」機会として、また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた新潟市における文化プログラムの主要事業として、国内、世界へ文化を発信します。NIDF2017のさまざまなプログラムとアジアの舞踊団、観客、市民の出会いによって、ここ新潟市が、北東アジアの文化交流の拠点となる未来を描きます。

Niigata International Dance Festival (NIDF) is an international dance festival taking place in Niigata City. In this second edition, professional dance companies of the same caliber as Niigata City's RYUTOPIA residential dance company Noism, gather together in Niigata from Korea, Singapore, and China. As an opportunity to Encounter Asia's Here and Now: Niigata City, from the Whole World Over — and additionally, as a cultural program looking toward the 2020 Tokyo Olympic and Paralympic Games— the dance pieces, created within their respective environments, transmit culture via workshops and symposiums from Niigata to the rest of Japan, and the rest of the world. Through these encounters — between the various NIDF2017 programs and the dance companies of Asia, the audience members, the city residents — we envision a future in which Niigata City serves as northeast Asia's base for cultural exchange.

TICKETS 全席指定 all reserved seating

単券 ▶ 大邱市立舞踊団 / T.H.E ダンスカンパニー / 城市当代舞踊団：一般4,000円・U25*3,200円
▶ Noism1：S席 一般4,000円・U25*3,200円
A席 一般3,000円・U25*2,400円 *25歳以下(入場時に身分証明書をご提示ください)

セット券 2演目以上のチケットを同時にご購入の方は、1枚あたり20%割引となります。
※限定50組での販売となります。 ※セット券はN-PACmate割引との併用はできません。

発売日 ▶ 大邱市立舞踊団 / T.H.E ダンスカンパニー / 城市当代舞踊団の単券および、セット券
7月26日[水] N-PAC mate会員先行
7月27日[木] 一般発売
▶ Noism1の単券 [セット券は7月27日(先行7月26日)から]
10月13日[金] N-PAC mate会員先行
10月15日[日] 一般発売

取扱い ▶ りゅーとぴあ(窓口・電話・オンライン)
チケット専用ダイヤル Tel: 025-224-5521(11:00-19:00、休館日を除く)
オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>
▶ e+ イープラス <http://eplus.jp/> (PC・MB)
※セット券はりゅーとぴあ(窓口・電話)のみでの取扱いとなります。
※未就学児はご入場いただけません。
※車いす席はチケット購入時にお申し出ください。りゅーとぴあ(窓口・電話)のみで取扱いとなります。
※開演後の入場については、制限させていただく場合があります。また、開演後は指定のお席にご案内できない場合もあります。

【サポートシステムのご案内】 託児サービス(有料/定員制/公演2週間前まで)、難聴者赤外線補聴システムをご利用の方は、事前にりゅーとぴあチケット専用ダイヤル(025-224-5521)までご連絡ください。

Single Show Tickets DCDC / T.H.E / CCDC: All seats General admission ¥4,000 / U 25* ¥3,200
Noism1: S Seats General admission ¥4,000 / U 25* ¥3,200
A Seats General admission ¥3,000 / U 25* ¥2,400 * Under 25 years old

Ticket Packs Purchase tickets for two or more shows together for 20% off on each ticket.
*Sales limited to 50 sets. *The N-PAC mate discount cannot be applied to ticket packs.

On-Sale Dates Single show tickets and ticket packs for DCDC, T.H.E, and CCDC
N-PAC mate members advance tickets on sale July 26 (Wed)
General admission tickets on sale July 27 (Thu)
Noism1 single show tickets
N-PAC mate members advance tickets on sale October 13 (Fri)
General admission tickets on sale October 15 (Sun)

Ticket retailers RYUTOPIA (ticket office, telephone, online)
Ticket hotline: 025-224-5521 (11:00-19:00, excluding holidays)
Online tickets: <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>
e-plus <http://eplus.jp/> (mobile accessible)
*Ticket packs may only be purchased via RYUTOPIA (ticket office or telephone).
*Preschoolers will not be admitted.
*Wheelchair seats may only be purchased via RYUTOPIA (ticket office or telephone). Please inquire at the time of purchase.
*Entrance may be restricted following the beginning of the show. It may not be possible to keep your designated seat.

Guide to Support Services: Those who wish to make a reservation for the daycare service (up to two weeks prior to the performance for an additional fee) or to use the infrared hearing system for the hearing impaired, please contact the RYUTOPIA ticket hotline (025-224-5521) in advance.

お問い合わせ：アートカウンシル新潟(NIDF2017実行委員会事務局) 〒951-8131 新潟市中央区白山浦1丁目613番地69 新潟市開発公社会館3F
Tel: 025-234-4530 Fax: 025-234-4521 E-mail: nidf@niigata.email.ne.jp
Contact us: Arts Council Niigata (executive office of NIDF2017)
3rd floor Niigata Kaihatsu Kosha Kaikan, 1-613-69 Hakusanura, Chuo-ku, Niigata City, 951-8131
Tel: 025-234-4530 Fax: 025-234-4521 E-mail: nidf@niigata.email.ne.jp

主催：NIDF2017実行委員会
Organizer: The executive committee of NIDF2017

ACCESS



りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館
新潟市中央区一番堀通町3-2
▶新潟駅万代口より車で15分
▶関越自動車道/磐越自動車道新潟中央ICより車で20分
▶新潟駅万代口よりバスで15分～20分
萬代橋ライン(BRT)青山方面行「市役所前」下車徒歩5分
▶新潟空港より車で30分

RYUTOPIA Niigata City Performing Arts Center
3-2 Ichibanboridori-cho Chuo-ku Niigata City
▶By car
15 minutes from Niigata Station.
20 minutes from Niigata Chuo Interchange.
30 minutes from Niigata Airport.
▶By bus (From Niigata Station Bandai Exit)
Take Bandai-bashi Line(BRT) to the City Office stop.
About 5 min walk.



世界から新潟へ
アジアの現在に
出会う。

Japan 日本新潟 | Noism1 - RYUTOPIA Residential Dance Company | 芸術監督 金森穰

城市当代 舞踏團

China 中国香港 | City Contemporary Dance Company | 芸術監督 ウィリー・ツァオ

新潟インターナショナルダンスフェスティバル

NIDF 2017

アーティストックディレクター

金森穰

会場

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

NIIGATA INTERNATIONAL DANCE FESTIVAL 2017

Singapore シンガポール | The Human Expression Dance Company | 芸術監督 クイック・スティーブン

THE Dance

대구 사람들

Korea 韓国大邱 | Daegu Contemporary Dance Company | 芸術監督 ホン・スンヨブ

2017. 9.29. Fri / 10.8. Sun / 10.15. Sun / 12.15. Fri - 17. Sun

<http://artsouncil-niigata.jp/nidf>

PERFORMANCE パフォーマンス



photo: Lee Gyeongun

韓国・大邱 Daegu, Korea

大邱市立舞踊団 (DCDC)

Daegu Contemporary Dance Company

『Mosaic』『Bolero』

Mosaic / Bolero

振付 | ホン・スンヨブ

Choreography: Sung Yop Hong

9月29日[金] 19:00 September 29 (Fri) 19:00

*終演後アフタートークあり ホン・スンヨブ×金森穰

*Post-Performance Talk by Sung Yop Hong & Jo Kanamori

『Mosaic』、『Bolero』の2作品を上演。『Mosaic』は、これまでのホン・スンヨブ振付の代表作から名場面を抜粋して作り上げたレパートリー作品。綿密に計算されたミニマルな動きは、多彩な語彙となって作品を立ち上げていく。40分あまりの間に展開するムーブメントの連続は彼の作品の醍醐味。『Bolero』は、朝鮮戦争を背景とし、愛する日本人の妻や家族と別れたまま、孤独に死を迎えた悲運の天才画家イ・ジュンソプ(李仲燮)の世界を描く。家族との離別や哀歓の感情が、2名の女性ダンサーによって、豊かに描き续かれ、空間に紡ぎ出される。

DCDC will perform two pieces, *Mosaic* and *Bolero*. *Mosaic* is a repertory work excerpting noted scenes from representative pieces choreographed by Sung Yop Hong up to the present. Minimal gestures, calculated to the finest detail, emerge as a rich vocabulary composing the piece. Developing across just over 40 minutes, this series of movements presents the true pleasures of Sung Yop Hong's oeuvre. *Bolero*, which depicts the world of gifted artist Lee Jung Seob, who suered the tragic fate of dying in solitude, away from his beloved Japanese wife, as well as his family around the Korean War. Two female dancers gracefully draw out the familial separation, the emotions of joy and sorrow, weaving them into space.

大邱市立舞踊団 | 1981年、韓国で初めての公立現代舞踊団として設立。毎年2回の定期公演のほか、数多くの特別公演など、活発な活動を続けている。2014年11月、6代目の芸術監督として振付家ホン・スンヨブを迎え、現在45名の団員とともに、質の高いダンスで韓国と大邱市の現代舞踊の発展に寄与している。また海外公演を通じて、様変わりし続ける現代のダンス・シーンと交わり、韓国国内のみならず国際舞台での活躍の場を広げている。

Daegu Contemporary Dance Company (DCDC) | Established in 1981 as the first metropolitan contemporary dance company in Korea, Daegu Contemporary Dance Company continues its lively activities with a multitude of special performances, in addition to its regular stages taking place twice a year. With its sixth artistic director — as of November 2014 — choreographer Sung Yop Hong, as well as the current 45 members, the company's high-quality work contributes to the evolution of contemporary dance in Korea and Daegu. Furthermore, through overseas performances, Daegu Contemporary Dance Company mingles with today's ever-shifting dance scene, expanding its activities not only within Korea but onto the international stage.

SYMPOSIUM シンポジウム

『アジアにおける劇場文化の未来』

Symposium “The Future of Performing Arts in Asia”

12月17日[日] 時間未定 December 17 (Sun)

*『NINA - 物質化する生け贄』終演後の開始となります。

詳細は決定次第ウェブサイトにて発表します。

*To begin following the performance of *NINA — materialize sacrifice*

NIDF2017に参加する舞踊団の芸術監督4名が揃い、劇場専属舞踊団の抱える課題やそれぞれの国での舞踊活動の現状について話し合うシンポジウム。アジアにおける劇場文化の今後を考えます。(日本語への逐次通訳あり)

To consider what lies ahead for the performing arts in Asia, the four artistic directors of NIDF2017 participating dance companies gather for a symposium in which they will discuss issues faced by residential dance companies and the current situation of dance in their respective countries. (With Japanese consecutive interpretation)

料金 | 無料(申し込み不要・先着順)

*満席の際はご入場いただけないことがあります

Price: Free (application unnecessary; first-come first-served)

*entry may be refused if the venue reaches capacity



photo: Lee Gyeongun

シンガポール Singapore

T.H.E ダンスカンパニー (T.H.E)

T.H.E Dance Company

『As It Fades』

As It Fades

振付 | クイック・スイ・ブン

Choreography: Swee Boon Kuik

10月8日[日] 15:00 October 8 (Sun) 15:00

*終演後アフタートークあり クイック・スイ・ブン×金森穰

*Post-Performance Talk by Swee Boon Kuik & Jo Kanamori

「忘れずにいたい」というテーマの本作品は、振付家クイック・スイ・ブンによる日常から消えゆくアジアの伝統文化へのオマージュである。海南語と中国標準語の民俗音楽を軸に、社会や個人を巡る文化、伝統、環境についての、パーソナルな、そして集団としての記憶を、強烈に喚起する。感情の言語で語りかけてくる本作。それは抛り所を失い、忘れ去られ、私たちの身体の奥底に葬られてしまった言葉によって紡ぎ出され、クイックが捉える、断片的で完全には理解できない伝統文化と、現代人の関係性を映し出し伝える。中国語の副題『破碎与扭曲』は「破碎、歪み」を意味する。

Seeded in the theme “I Want To Remember”, *As It Fades* is choreographer Swee Boon Kuik's homage to Asian traditions and their fading presence in our lives. Central to the performance is the use of Hainanese and Mandarin folk tunes, a powerful trigger of personal and collective memory encompassing culture, heritage and environment on the societal and individual level. *As It Fades* speaks an emotionally charged language; one that is lost, forgotten and buried deep within our bodies. Its vocabulary reflects Kuik's view of the relationship between modern man and traditional culture — that is, a fragmented and incomplete understanding towards the latter, giving rise to the work's Mandarin subtitle “破碎与扭曲”, literally translating to “broken and twisted”.

T.H.E ダンスカンパニー(ザ・ヒューマン・エクスペリション・ダンスカンパニー) | 「業界を牽引する舞踊団」と称され、卓越した芸術性と技術を誇る革新的な現代舞踊の代名詞とも言えるT.H.Eは、創設以来、主要な国際芸術祭で公演を行ってきた。地域のダンサー育成プラットフォームとして、コンテポラリーダンスフェスティバル「CONTACT」を2010年に立ち上げる。身体の動きを前面に押し出すことを特徴とするT.H.Eは、人間の普遍的体験の深部まで切り込んでいく。

T.H.E Dance Company | Described as a dance company “at the top of its game”, The Human Expression Dance Company (T.H.E) and its semi-professional wing, T.H.E Second Company, are names synonymous with ground breaking contemporary dance of the highest quality and artistry. T.H.E has performed at all major local arts festivals and prestigious international festivals such as Les Hivernales (2012), SIDance Festival (2013), Auckland Arts Festival (2016), Yokohama Dance Collection at TPAM 2016, among others. In 2010, T.H.E initiated the first annual Singapore contemporary dance festival CONTACT to create a nurturing platform for local and regional dance artists. With its unique brand of highly physical and kinetic works, T.H.E digs deep into the universal human experience.

会場 | リゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

Venue: Theater, RYUTOPIA Niigata City Performing Arts Center



photo: Choo Myeongyu



photo: Ringo Chan



photo: Kishin Shinoyama



パネリスト **ホン・スンヨブ** (大邱市立舞踊団 芸術監督)

クイック・スイ・ブン (T.H.E ダンスカンパニー 芸術監督)

ウィリー・ツァオ (城市当代舞踊団 芸術監督)

金森穰 (Noism 芸術監督)

Talkers

Sung Yop Hong (Artistic Director, DCDC),

Swee Boon Kuik (Artistic Director, T.H.E),

Willy Tsao (Artistic Director, CCDC)

Jo Kanamori (Artistic Director, Noism)



photo: Central-Di-Luceo

中国・香港 Hong Kong, China

城市当代舞踊団 (CCDC)

City Contemporary Dance Company

『Amidst the Wind』

Amidst the Wind

振付 | ウィリー・ツァオ ほか

Choreography: Willy Tsao and others

10月15日[日] 17:30 October 15 (Sun) 17:30

*終演後アフタートークあり ウィリー・ツァオ×金森穰

*Post-Performance Talk by Willy Tsao & Jo Kanamori

『Amidst the Wind』は、芸術監督ウィリー・ツァオによって香港返還以後20年の城市当代舞踊団(CCDC)の作品から選び抜かれた最も爽快な舞踊の祝祭と言える。複数演目から構成された本作は、ツァオ自身を含むヘレン・ライ、サン・ジシアなどの香港の著名な振付家に加え、振付界の新星ノエル・ボンヤドミニク・ウォンの近作が盛り込まれている。『Amidst the Wind』は、CCDCの本質を一つの作品として凝縮された公演である。

Handpicked by Artistic Director Willy Tsao, *Amidst the Wind* is a feast of the most exhilarating dance excerpts from City Contemporary Dance Company's productions from the past two decades since the return of Hong Kong to Mainland China. This mixed bill includes works by renowned choreographers who make Hong Kong their base — Tsao himself, Helen Lai and Sang Jijia — as well as recent creations from new stars in choreography — Noel Pong and Dominic Wong. *Amidst the Wind* distills the essence of CCDC into one unforgettable evening. CCDC tour to Niigata is supported by Hong Kong Economic and Trade Office (Tokyo), the Government of the Hong Kong Special Administrative Region, People's Republic of China.

城市当代舞踊団(CCDC) | ウィリー・ツァオによって1979年に創設されたCCDCは、優れた現代舞踊作品を通して観客に感動と興奮を与え続けてきた。多様性と活気に溢れる香港の現代カルチャーが持つ勢いと創造性の代名詞として知られ、世界の名だたる劇場やフェスティバルなど、海外から招聘を受け公演を行う。サウスチャイナ・モーニング・ポスト誌から「香港現代芸術の魂」と評される。

カンパニー・公演助成：香港経済貿易代表部(東京)、中華人民共和国香港特别行政区政府
City Contemporary Dance Company | Founded in 1979 by Willy Tsao, CCDC has inspired and excited audiences with superb contemporary dance performances. It is renowned for reflecting the vigor and creativity of Hong Kong's vibrant, multifaceted contemporary culture, receiving overseas invitations to perform on some of the world's foremost dance stages and festivals. Praised by South China Morning Post, CCDC is “The artistic soul of contemporary Hong Kong”. CCDC is financially supported by the Government of the Hong Kong Special Administrative Region, People's Republic of China.

Workshop ワークショップ

会場 | リゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館〈スタジオB〉

Venue: Studio B, RYUTOPIA Niigata City Performing Arts Center

海外から参加する3舞踊団の振付家による、舞踊家を対象としたワークショップを開催します。自身のスキル向上とともに、各舞踊団独自の身体理論や、その活動の源泉を体験できる絶好の機会です。(日本語通訳あり)

Aimed at dancers workshops will be held by the choreographers of the three dance companies participating from overseas. An ideal chance to not only improve your own skills, but also to directly experience each dance company's unique theory of movement, as well as the sources from which these activities have sprung. (With Japanese interpretation)

A：9月27日[水] 19:00–20:30 講師 | ホン・スンヨブ(DCDC) **Sung Yop Hong**

B：10月9日[月・祝] 11:00–12:30 講師 | クイック・スイ・ブン(T.H.E) **Kuik Swee Boon**

C：10月16日[月] 19:00–20:30 講師 | ウィリー・ツァオ(CCDC) **Willy Tsao**

▶対象 | 舞踊経験3年以上(ジャンル不問)、16歳以上の方 ▶定員 | 各回20名程度 ▶料金 | 各回2,000円

▶応募方法 | NIDF2017公式ウェブサイトより応募用紙をダウンロードの上、必要事項を記入し、下記までご送付ください。

【郵送の場合】〒951-8131 新潟市中央区白山浦1丁目613番地69 新潟市開発公会館3F アーツカウンシル新潟 NIDFワークショップ係

【メールの場合】件名を「ワークショップ応募」として、nidf@niigata.email.ne.jp へお送りください。

▶応募〆切 | 9月15日[金]必着

▶選考方法 | 応募書類をもとに選考を行います。参加可否は9月20日[水]までにメールにてご連絡いたします。

For those 16 years and up, with more than three years of dance experience (any genre). / Limited to 20 participants per workshop. / Fee: ¥2,000 per workshop. / Detail and Application procedure : Please visit NIDF2017 official website

会場 | リゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

Venue: Theater, RYUTOPIA Niigata City Performing Arts Center



photo: Kishin Shinoyama

日本・新潟 Niigata, Japan

Noism1 (リゅーとびあ専属舞踊団ノイズム)

Noism1 – RYUTOPIA Residential Dance Company

『NINA—物質化する生け贄』

NINA – materialize sacrifice

演出振付 | 金森穰

Artistic Direction & Choreography: Jo Kanamori

12月15日[金] 19:00* / 16日[土] 17:00* / 17日[日] 15:00

December 15 (Fri) 19:00* / 16 (Sat) 17:00* / 17 (Sun) 15:00

*終演後アフタートークあり 金森穰

*Post-Performance Talk by Jo Kanamori

2005年の初演以来、8カ国18都市で上演してきた金森穰演出振付のNoism初期代表作。2017年秋に衣裳を一新し、東アジアツアーを終た“新生NINA”、7年ぶりの新潟凱旋。舞台における身体とは、どのような“状態”であるべきか。身体そのものの「普遍的な強度」を追求する中で生まれた作品。極度の集中により舞踊家の身体から放たれるエネルギーが、舞台という非日常の空間に立ち現れる。人で在って物となる、人を問うために。そして舞踊家は、物質化することを受け入れた、誇り高き生け贄となる。

NINA – materialize sacrifice, directed and choreographed by Jo Kanamori, is the masterpiece of Noism's early period. Since its premiere in 2005 it has been staged in 18 cities across eight countries, to huge acclaim. After touring East Asia this fall, this new-look revival of *NINA* triumphantly opens in Japan for its first performance in seven years. In what “state” should the bodies be onstage? This is a work born from the pursuit of the “universal power” of flesh itself. Through extreme concentration, with their powerful bodies and minds, the dancers incarnate things that can only arise in the extraordinary space of the stage. Humans become things, to interrogate humanity. And so the dancers, having accepted their materializing, become proud sacrifices.

Noism | リゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する日本初の劇場専属舞踊団。演出振付家・舞踊家の金森穰がリゅーとびあ舞踊部門芸術監督に就任したことにより2004年に設立。プロフェッショナルカンパニー Noism1と研修生カンパニー Noism2の2つの集団がある。新潟を拠点に、Noism1は国内外で作品を上演、Noism2は県内のイベントにも出演する等地域に根ざした活動を行う。新潟から世界を見据えた活動は、21世紀日本の新たな劇場文化モデルとして注目を集めている。

Noism | Noism is Japan's first dance company to have a residency at a theater, basing its activities at the Ryutopia Niigata-City Performing Arts Center. The company was founded in 2004, after the director, choreographer, and dancer Jo Kanamori was appointed artistic director of Ryutopia's Dance Division. It is split into two divisions: Noism1, which consists of professional dancers, and Noism2, for apprentices. Based in Niigata, Noism1 performs works both in Japan and abroad, whereas Noism2 is primarily active in the region, participating in events within the prefecture. With its global outlook, the company's work has been getting attention from all quarters as a new model for Japan's theater culture in the 21st century.



photo: Ryū Endō

文化庁

平成29年度 文化庁

文化芸術創造活用

プラットフォーム形成事業



beyond
2020

*演目等、内容に変更が生じる場合があります。ご了承ください。*Program details subject to change.

平成29年6月27日

新潟市文化創造推進課

水と土の芸術祭2018基本計画に係る市民意見の募集について

- 趣 旨 水と土の芸術祭2018の基本計画について、広く市民から意見を募集し、実施計画策定の参考とする。
- 募集期間 平成29年6月27日（火）から8月4日（金）まで（必着）
- 配布・閲覧場所等 市政情報室（市役所本館1階）、各区地域課・出張所、ほんぽーと中央図書館、文化創造推進課（市役所分館地下1階）において、基本計画及び意見書を配布。市HPにおいても閲覧及びダウンロード可能。
- 提出方法 文化創造推進課あてに、郵送・FAX・電子メールで提出。持参の場合は文化創造推進課もしくは市政情報室、各区地域課、出張所、ほんぽーと中央図書館の窓口へ提出。
- その他 基本計画書、意見書については別紙参照

お問い合わせ先

新潟市文化創造推進課（樋口・小熊）

電話025-226-2625(直通)

水と土の芸術祭2018基本計画

市民意見募集のお願い

「水と土の芸術祭 2018 基本計画」について市民*の皆さまからご意見を募集しています。
裏面の意見書を使い、自由にご意見をお寄せください。また、「水と土の芸術祭」に関するアンケートにも併せてご協力をお願いします。

* 市内に住所を有する個人・法人のほか、市内の事業所や学校に在勤・在学している人、市内において市民活動や事業活動など様々な活動を行っている個人・団体の事を言います。

■募集期間

平成29年6月27日（火）～平成29年8月4日（金）※必着

■配布・閲覧場所

◇新潟市ホームページ

(http://www.city.niigata.lg.jp/kanko/bunka/mizu_tsuchi/mizutsuchi2018/2018iken/2018kihon_iken.html)

◇市政情報室（新潟市役所本館1階）

◇各区役所地域課、出張所

◇ほんぽーと中央図書館

◇文化創造推進課（新潟市役所分館地下1階）

■提出方法

◇郵便：〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1
新潟市文化創造推進課

◇ファックス：025-265-8777 新潟市文化創造推進課

◇電子メール：bunkasozo@city.niigata.lg.jp

◇持参：市政情報室（新潟市役所本館1階）

各区役所地域課、出張所

ほんぽーと中央図書館

文化創造推進課（新潟市役所分館地下1階）

【注意事項】

- 氏名（法人その他の団体にあつては、所在地・名称・代表者の氏名）・住所・連絡先（電話番号、ファックス番号、メールアドレス等）を必ず明記してください。
- 意見書は日本語でご記入ください。
- 締切日までに到着しなかった場合は、無効とさせていただきます。
- 電話でのご意見はお受けできません。

■ご提出いただいたご意見の取り扱い

- ◇本募集により知りえた個人情報「新潟市個人情報保護条例」を準用し適切に取扱い、本業務以外には使用いたしません。
- ◇ご意見は、その概要等を公表し、実施計画策定の参考にさせていただきます。
- ◇ご意見に対する個別の回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

新潟市文化スポーツ部文化創造推進課

〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1 新潟市役所分館地下1階

電話：025-226-2625 F A X：025-265-8777

電子メール：bunkasozo@city.niigata.lg.jp

市民プロジェクト

市民が主体で行う新潟の魅力を
発信するイベントなど



こどもプロジェクト

こどもの創造性を育む体験型
アート作品とワークショップなど



アートプロジェクト

高い芸術性と新潟の
歴史・文化・自然が感じられる
アート作品の展示



シンポジウム

芸術祭の取り組みと連動した
トークイベントなど

にいがた JIMAN

新潟の「食」・「農」、
「おどり」など新潟市の誇る
豊かな文化を体験

2018.7.14(土) — 10.8(月・祝)

私たちはどこから来て、どこへ行くのか

～新潟の水と土から、過去と現在を見つめ、未来を考える～

「水と土」から生まれた新潟の暮らし文化を掘り下げ、広く発信することで、
「現代に生きる私たちが過去の歴史を見つめ直し、未来を考える機会としたい。」そんな思いを込めた芸術祭です。

新潟の魅力が詰まった5つのプロジェクトを「みなとまち新潟」をフィールドとして開催する

「水と土の芸術祭2018」にぜひお越しください。

水と土の
芸術祭

Water and Land
Niigata Art Festival 2018

お問い合わせ | 水と土の芸術祭2018実行委員会 〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1(新潟市文化創造推進課内)
Tel. 025-226-2625 Fax. 025-265-8777 E-mail: bunkasozo@city.niigata.lg.jp

www.facebook.com/mizutuchi twitter.com/mizutsuchi2018

※記載の内容は平成29年5月現在の予定であり、変更になる場合がございます。最新の情報は、特設ホームページをご覧ください。

みずつち www.mizu-tsuchi.jp



水と土の芸術祭2018基本計画に対する意見書

必須事項は必ずご記入ください。

| | | | | |
|---|---|----|----|--|
| ふりがな | | 年齢 | 性別 | <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 |
| 氏名【必須】 | | 歳 | | |
| 住所【必須】 | 〒 | | | |
| 連絡先【必須】 (いずれか一つ以上 ご記入ください) | ・電話番号 () ・ファックス番号 () ・メールアドレス () | | | |
| 市内にお住まいでない方 (区分) | 市内にお住まいでない方は、該当する区分をご選択ください【必須】 <input type="checkbox"/> 市内在勤 <input type="checkbox"/> 市内在学 (名称) (所在地) | | | |
| 意見内容 | | | | |
| 【具体的なお意見等をご記入ください】 ①基本計画をお読みいただき、修正やご意見、ご要望等をご記入ください。修正希望の場合は、修正部分が見えるよう基本計画の掲載ページ等をご記入いただき、修正案及び、その理由をご記入ください。 ②自由意見 | | | | |

※上記必須項目が記載されていれば、任意の様式でも提出可能です。

●提出期限 平成29年8月4日(金) 必着

《右のアンケートにもご協力をお願いします》

水と土の芸術祭に関するアンケート

◎以下の設問にご回答ください。(当てはまる番号に○を付けてください)

| | | | |
|---|----------------------------|---------------------|------------------|
| Q1 水と土の芸術祭をご覧になったことがありますか。【複数回答可】 | | | |
| 1 水と土の芸術祭 2009(第1回) | 2 水と土の芸術祭 2012(第2回) | 3 水と土の芸術祭 2015(第3回) | 4 知っているが行ったことがない |
| 5 知らなかった | ※「4」または「5」の方はQ4へお進みください。 | | |
| Q2 芸術祭へは、主にどのような交通手段を利用されましたか。【複数回答可】 | | | |
| 1 徒歩 | 2 自転車 | 3 車・バイク | 4 タクシー |
| 5 バス | 6 電車 | 7 その他 () | |
| Q3 芸術祭の情報は何でお知りになりましたか。【複数回答可】 | | | |
| 1 芸術祭公式HP | 2 (1以外の)HP | 3 芸術祭公式SNS | 4 (3以外の)SNS |
| 5 市報にいがた | 6 新聞 | 7 雑誌 | 8 チラシ |
| 9 ポスター | 10 テレビCM | 11 テレビ番組 | 12 ラジオ |
| 13 口コミ | 14 その他 () | | |
| Q4 「水と土の芸術祭 2018 基本計画」の中で関心のある取り組みは何ですか。【複数回答可】 | | | |
| 1 市民プロジェクト | 2 こどもプロジェクト | 3 アートプロジェクト | |
| 4 シンポジウム | 5 にいがたJIMAN (食・ツアー・伝統芸能など) | | |

ご協力ありがとうございました。

水と土の芸術祭 2018 基本計画
WATER AND LAND—NIIGATA ART FESTIVAL 2018

平成 29 年 4 月 28 日

水と土の芸術祭 2018 実行委員会

目次

| | | |
|------|--------------|----|
| I | 開催概要 | 1 |
| II | 事業内容 | 2 |
| 1 | 市民プロジェクト | 2 |
| 2 | こどもプロジェクト | 3 |
| 3 | アートプロジェクト | 4 |
| 4 | シンポジウム | 5 |
| 5 | にいがたJIMAN | 5 |
| 6 | その他主催事業 | 6 |
| 7 | 連携事業 | 6 |
| 8 | 事業全体像 | 7 |
| III | 輸送・交通 | 8 |
| IV | 広報・誘客 | 9 |
| V | 市内・広域連携の取り組み | 11 |
| VI | 観覧料等 | 12 |
| VII | 実施・運営体制 | 13 |
| VIII | スケジュール | 14 |
| IX | 予算 | 15 |

I 開催概要

1 名称

水と土の芸術祭 2018 (みずとつちのげいじゅつさい にーぜろいちはち)

2 基本理念

私たちはどこから来て、どこへ行くのか

～新潟の水と土から、過去と現在(いま)を見つめ、未来を考える～

3 目的

- 「水と土の文化創造都市」の推進
 - ・ シビックプライド^{*1}の醸成と市民力の更なる発展
 - ・ 新潟らしい魅力の発信(食・農・おどり・海・川・潟・砂丘・港 など)
 - ・ 産業や教育・福祉など他分野への創造性の浸透・波及
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた新潟市の文化プログラム^{*2}の主要事業として、世界へ新潟市をアピールするとともに、北東アジア文化交流拠点都市につなげる。
- 新潟開港 150 周年の主要事業に位置付け、「みなとまち」としての魅力向上につなげる。

4 主催

水と土の芸術祭 2018 実行委員会

5 後援(今後依頼予定)

総務省、経済産業省、環境省、駐新潟大韓民国総領事館、在新潟ロシア連邦総領事館、中華人民共和国駐新潟総領事館、(社)日本観光振興協会 等

6 会期

2018 年(平成 30 年)7 月 14 日(土)～10 月 8 日(月・祝) 計 87 日間

7 会場

市内全域 ※新潟市の魅力である「潟」「砂丘」「港」などを活用した会場とする。

○ メイン会場:「万代島旧水揚場跡地」、サテライト会場:「旧二葉中学校」

○ 市民プロジェクトおよびアートプロジェクトの一部は、市内全域で展開する。

8 事業

- (1) 市民プロジェクト(市民自らが企画・運営するイベントやプロジェクト等)
- (2) こどもプロジェクト(次代を担う子ども達の創造性を育む事業)
- (3) アートプロジェクト(アーティスト等を招へいし、深い地域性と高い芸術性を持つ作品を制作・展示)
- (4) シンポジウム(芸術祭の取り組みと連動したトークイベント等)
- (5) にいがた JIMAN(「食」や「農」・「おどり」など、新潟市の誇る豊かな文化を広く PR)

9 予算 270,000,000 円

^{*1} 「シビックプライド」→市民の誇り。

^{*2} 「文化プログラム」→オリンピック憲章では、開催地に複数の文化イベントの実施を義務付けており、これを「オリンピック文化プログラム」と呼ぶ。東京 2020 組織委員会および国では、リオ 2016 閉幕から東京 2020 閉幕までの 4 年間、全国各地で様々な文化イベントが行われるよう進めている。

II 事業内容

1 市民プロジェクト

市民自らが企画・運営するもので、イベントのみならず、まちづくりや地域活性化に繋がるプロジェクトを支援する。これにより、市民や地域が主体となって関わることができる、参加性の高い芸術祭とする。

(1) 対象事業(次のア～エのいずれにも該当するもの)

ア 市内のグループ・団体等(法人含む)が当芸術祭に賛同して行うイベント等で、以下①～③にかかるものであること。

①「市民プロジェクト」:新潟の「水と土」の歴史・文化などを紹介し、「水と土の文化創造都市の推進」に資するもの、新潟らしい魅力(おどり・海・川・潟・砂丘・港 など)を発信するもの、または東日本大震災による被災者・避難者等を支援するもの。

②「食と農の市民プロジェクト」:新潟の「水と土」を象徴する「食」と「農」の魅力を発信するもの。

③「アート市民プロジェクト」:集落・商店街・自治会・コミュニティ協議会等を単位として、アーティストを招へいた「水と土」に関わるアート展示や、福祉やアール・ブリュット^{*3}の視点を取り入れたアート展示、アーティスト・イン・レジデンス^{*4}などを活用して、自主的に企画立案し、さまざまな地域の課題解決をはかろうとするもの。

※ 主催者全員が市外在住の場合は、応募不可。

※ ③は概ね1区1～2エリアを基本として選定し、芸術祭の主要な展示の一角となるよう準備する。主催者がアーティストと繋がりが無い場合には、マッチングなど、ディレクター等が支援する。

※ ③の主催者は、市民プロジェクト間やアートプロジェクトとの連携・調整を図る人材の配置、並びに、区内の各プロジェクトの広報・連携の核となる拠点化を検討する。

イ 原則として芸術祭会期中に、新潟市内で開催するものであること。ただし、芸術祭会期前後に実施するもので、特に芸術祭開催の機運醸成等に繋がると認められる場合は、この限りではない。

ウ 不特定多数の集客、参加が見込まれるもので、非営利であること。

エ 政治・宗教などに関する活動や、公の秩序又は善良の風俗に反するものでないこと。

(2) 実施件数 計110件程度(うち①、②合計100件、③10件程度)

(3) 対象地域 市内全域(東日本大震災に対する支援を行うものについては、この限りではない)

(4) 実施主体 市民グループ、地域、団体、学校、事業所・企業等

(5) 募集期間 2017年度(平成29年度)下半期

^{*3}「アール・ブリュット」→「生(き)の芸術」とも訳され、既存の芸術教育を受けていない人たちが独自に作り出した作品の総称。

^{*4}「アーティスト・イン・レジデンス」→各種の芸術制作を行うために招かれたアーティストが、一定期間滞在しながら作品を制作すること。

- (6) 選定方法 一般公募により募集し、実行委員会で選定する。
- (7) 採択要件
- 芸術祭の趣旨を理解し、独創性のある魅力的なイベント等であるもの
 - 事業主体が自主的に企画立案し、実施するもの(但し、(1)ア③についてはこの限りではなく、記載の内容による)
 - 芸術祭に関する情報発信や、地域の魅力の再発見、再構築およびその発信に寄与するもの
- (8) 支援内容
- 事業費の支援、各種相談、広報、アーティスト等の紹介 等
- ※以下の経費は原則として、支援対象外とする。
- ア 事務所等を維持するための経費
 - イ 飲食費
 - ウ 人件費(外部講師や招へいアーティストに対する謝礼等は除く)
 - エ その他、事業に直接必要がない経費
- (9) 事業例
- ① まちあるき、伝統芸能、音楽、演劇、アート、映像、パフォーマンス、ワークショップ
空き家・空き店舗を活用したもの、東日本大震災の支援に繋がるもの、各種イベント 等
 - ② メニュー開発、フードイベント、農業体験ツアー 等
 - ③ 商店街の空き店舗にアートを展示した小芸術祭、アーティスト・イン・レジデンス 等

2 こどもプロジェクト

次代を担う子ども達の創造性を育むプログラムとして、芸術の面白さ、楽しさ、すばらしさを体感し満喫するとともに、地域の歴史・文化への理解を深める機会を提供する。

(1) 実施体制

子ども達が参加したくなる魅力的な体験型アート作品やワークショップ等の企画・実施をアーティストおよび教育関係者とともに進める。

また、教職員や学生など広く市民の参加を受け、幅広いメンバーが参画するプロジェクトとするとともに、子ども達が参加しやすい環境を整える。

(2) 事業例

- こどもの創造性を育む体験型アート作品の設置とワークショップや自由体験
- 作品の設置や撤去の舞台裏体験
- 障がいを持つこどものためのプログラム
- 学校で実施するプロジェクト
- アートプロジェクト参加アーティストによるワークショップ
- こどもの「芸術祭」鑑賞、参加、記録の活動
- 「芸術祭」を通してのこども同士の交流活動

3 アートプロジェクト

深い地域性と高い芸術性をもつアートプロジェクトを実施する。アートプロジェクトは、制作から展示まで、市民や地域が様々に関わることができる参加性の高いものとし、また、多様な人が楽しみ、大きな集客力が期待できるものとする。造形物の制作だけでなく、ワークショップなども実施し、過去の芸術祭で制作・設置した作品についても、活用を図るものとする。

また、国際芸術祭として、海外作家の作品展示を積極的に検討するとともに、障がい者アートなどの福祉の視点を入れた展開や、芸術祭終了後も楽しめる新たな継続展示作品の設置も検討する。

加えて、より多くの方々に作品を理解していただけるよう、解説手法を工夫する。

(1) 会場

会場は、地域の特性を活かし、交通の利便性に配慮した場所で、より多くの人々が作品に接することができる場所とする。

○メイン会場： 港と関連の深い「万代島旧水揚場跡地」

※ここにアート作品を集約し、質・量ともに充実した展示を実現する。また、一部を継続展示作品とし、芸術祭終了後も市民が文化・芸術に親しみ、集える、賑わいの場を創出する。

※メイン会場は、受付インフォメーション、カフェ、ショップ、「にいがた JIMAN」の場や、ツアーバス発着場ともなるため、これらが作品展示を阻害しないよう、十分に調整を検討する。

○サテライト会場： 砂丘列を象徴する場所にある「旧二葉中学校」

※創作活動の拠点とする。

※一部にアート作品を展示するとともに、周辺地域とも連携する。

○市内全域： 継続展示作品(既設)、再展示作品を展開

(2) 作品選定

作家選定は、総合ディレクターおよびアートプロジェクトのディレクターが行う。

作家・作品の選定にあたっては、以下の点に留意する。

水と土の芸術祭の趣旨を理解した上で、新潟市の歴史・文化・自然等を感じられる作品。国内外から注目を集め得る、普遍的価値を持つ作品。また、来場者が楽しみ、かつ今日の社会や人間のあり方について考えることのできる作品。制作等のプロセスにおいて参加性の高い作品等を優先的に選定するものとする。

会期前に完成する作品だけでなく、アーティスト・イン・レジデンス等、会期中においても生成・発展していく作品で創作活動のプロセスに市民や来場者が、深く関わり参加できる作品も検討する。

国際芸術祭として、北東アジア等、海外からの作家招へいも積極的に検討する。

(3) 作品数 40 作品程度

※各作品にかかる経費等により調整[前回:アート作品 44 作品]

(4) 制作

市民や地域、学校などとの協働で取り組む。プロジェクトによっては企業、事業所、団体等との共催で行う。また、アート制作のスポンサーを募る。

4 シンポジウム

芸術祭の取り組みと連動したテーマを設定し、オリンピック文化プログラムや新潟開港 150 周年など、様々な事項と関連させた「水と土」に相応しい、新潟らしい魅力（食・農・おどり・海・川・潟・砂丘・港 など）の発信と地域活性化につながるトークイベントを開催する。

なお、シンポジウムは市民プロジェクト、こどもプロジェクト、アートプロジェクトとも連携し、相互に増幅させるものとする。

- (1) テーマ
芸術祭の取り組みと連動したテーマを今後設定する。
- (2) 事業イメージ
シンポジウム、作家とのトークセッション
- (3) 開催場所
市内各所

5 にいがた JIMAN

芸術祭の機会を活かして、国内外の来場者が水と土によってもたらされた最大の宝物である「食」と「農」や「おどり」「伝統芸能」など、新潟ならではの体験をすることを通じて、新潟市の誇る豊かな文化を広く効果的に PR する。

来場者の満足度を向上させるとともに、地域の活性化や、地域経済の発展につながるよう、多くの経済団体・地元業者・市民等の参加を求める。

【事業例】

- 「食」・「農」と芸術祭をコラボレーションするイベント
- 新潟市の伝統芸能などのイベント
- 歴史や文化に触れるまち歩き
- 新潟でしか味わえない食を体験するカフェ（メイン会場／近辺）
- 水と土の芸術祭に関連したオリジナルグッズの開発
- オリジナルグッズのほか、参加アーティストのグッズ等、各種ミュージアムグッズを購入できるショップ（メイン会場／近辺）

6 その他主催事業

前夜祭やオープニングイベント・クロージングイベント等を、実行委員会が主催して行う。

7 連携事業

市内にある美術館・博物館等の数多くの文化施設のほか、市民団体、商店街、農業団体、事業所・企業と連携し、芸術祭全体の盛り上げを図る。関連の企画展や公演、イベントを開催していただき、芸術祭ホームページやチラシ等による広報の連携を図り、一体的な情報発信を行う。

水と土の芸術祭

本体事業

市民プロジェクト

こどもプロジェクト

アートプロジェクト

シンポジウム等

にいがた JIMAN

連携事業

市内連携

- ・文化施設、イベント、市民団体等の事業と連携した盛り上げ
- ・市内観光資源などを活用した国内外からの誘客

広域連携

- ・国内外の他都市との協力による誘客
- ・県内観光資源を活用した国内外からの誘客

Ⅲ 輸送・交通

(1) 基本方針

ア 市内外からの来場者が、円滑かつ安全に各会場までアクセス可能な輸送体制を確立する。

イ 輸送にあたっては、環境に配慮した交通手段を有効活用する。

(2) 実施体制

実行委員会事務局において、二次交通^{*5}、作品鑑賞バスツアー等の検討・運営を行う。

(3) 案内・誘導

ア 観光循環バスや路線バス、鉄道等の既存の交通手段を最大限活用できるよう、二次交通とそれに関連する歩行経路についての情報提供を行う。(併せて、宿泊施設の情報を提供するなど、来場者にホスピタリティ^{*6}溢れる情報提供を行う)。

イ 作品等への誘導手段のひとつとして、市内各所に誘導看板を設置する。誘導看板は、車道の主要な交差点等に設置する運転者向けのもの、駐車場から作品等へ案内する歩行者向けのもの2種を設置する。

ウ 誘導看板は、近隣の交通状況等を勘案した上で、特に景観や自然環境、安全性に配慮したものとし、的確な誘導を行えるものとする。

エ 作品設置箇所に、作品解説板を設置する。

オ 上記のほか、のぼり旗等、必要なものを適宜、許可の範囲で設置する。

^{*5} 「二次交通」→拠点となる空港や鉄道の駅から会場など目的地までの交通手段。

^{*6} 「ホスピタリティ」→おもてなしの行動や考え方。

IV 広報・誘客

(1) 広報・誘客の基本方針

- ア 新潟開港 150 周年や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会などを見据えた、早期からの戦略的な取り組みによる広報・誘客
- イ わかりやすい「ことば」による伝達にもとづく広報・誘客
- ウ 費用対効果の高い展開による広報・誘客
- エ 海外・県外向けに強化した広報・誘客
- オ SNS^{*7}等、最新メディアを有効活用した広報・誘客

(2) 実施体制

広報・誘客とも、実行委員会事務局内において、専門家を活用した戦略的かつ効果的な推進を図る。

(3) 広報

- ア プレスリリースの発行
新聞、テレビ、ラジオなどのマスコミや各種メディアに、情報を掲載したプレスリリースを発信し、記事としての掲載を促す。
- イ 広報全体の戦略(広報戦略)の策定
戦略的で効果的な広報展開を徹底する。
芸術祭のロゴ・シンボルについては、2015 年のものを更新して継続活用する。
- ウ パブリシティ^{*8}等
- エ ウェブサイト
「水と土の文化創造都市」ウェブサイトの機能のさらなる充実を図り、ページを追加し継続利用する。
- オ ガイドブック制作および配本
- カ 図録(作品記録集)制作
- キ 芸術祭チラシ・ポスター制作および配送
目的と時期に合わせ各種の印刷物を制作し、発送する。
- ク 雑誌広告掲載
- ケ TV による広報
- コ プレゼンテーションイベント等の企画・準備運営
- サ 屋外の大型掲示物等
人が集まり芸術祭が開催されていることを印象付けることが出来る場所(駅や大通り等)に、バナーやその他の大型掲示物を掲出する(その他、有効な掲示場所や方法を検討する)。

*7 「SNS」→ソーシャル・ネットワーキング・サービス。フェイスブックやツイッターなど。

*8 「パブリシティ」→事業などに関する情報を積極的にマスコミに提供し、マスメディアを通して報道として伝達されるよう働きかける広報活動。

(4) 誘客活動

ア 旅行商品

- 旅行商品の造成に向け、旅行業者、旅行代理店に芸術祭を組み入れた旅行商品を企画・提案
- 市内のイベントや観光施設、食の魅力、佐渡、大地の芸術祭などと連携したコースを開発
- 新潟観光コンベンション協会等と連携したエージェントセールス^{*9}
- 周辺観光施設・宿泊施設等とのタイアップ

イ 旅行誘致

- 美術系大学や美術関係団体、新潟市サポーターズ倶楽部、新潟県人会、首都圏の団体や事業所などへの旅行誘致
- 各種コンベンションや新潟まつり、日本海夕日コンサート、にいがた総おどり、食の陣などのイベント参加者や期間中に新潟市を訪れる宿泊者、ビジネス客等の獲得

(5) その他

ア 記録

実施報告書等の記録集の発行やホームページ等による情報発信を行うため、作品制作状況等の開催に至るまでの過程、展示状況を写真(公式カメラマン)や映像等で記録する。

イ インフォメーションセンター

来訪者の利便性を向上させるため、情報発信拠点としてインフォメーションセンターを設置する。

ウ スタンプラリーの実施・スタンプ台の設置

各作品展示場所にスタンプ台を設置し、作品観賞に併せて楽しめるスタンプラリーを実施する。

^{*9} 「エージェントセールス」→旅行業者や旅行代理店に対するツアー造成に向けた提案や売り込み活動。

V 市内・広域連携の取り組み

1 市内連携の取り組み

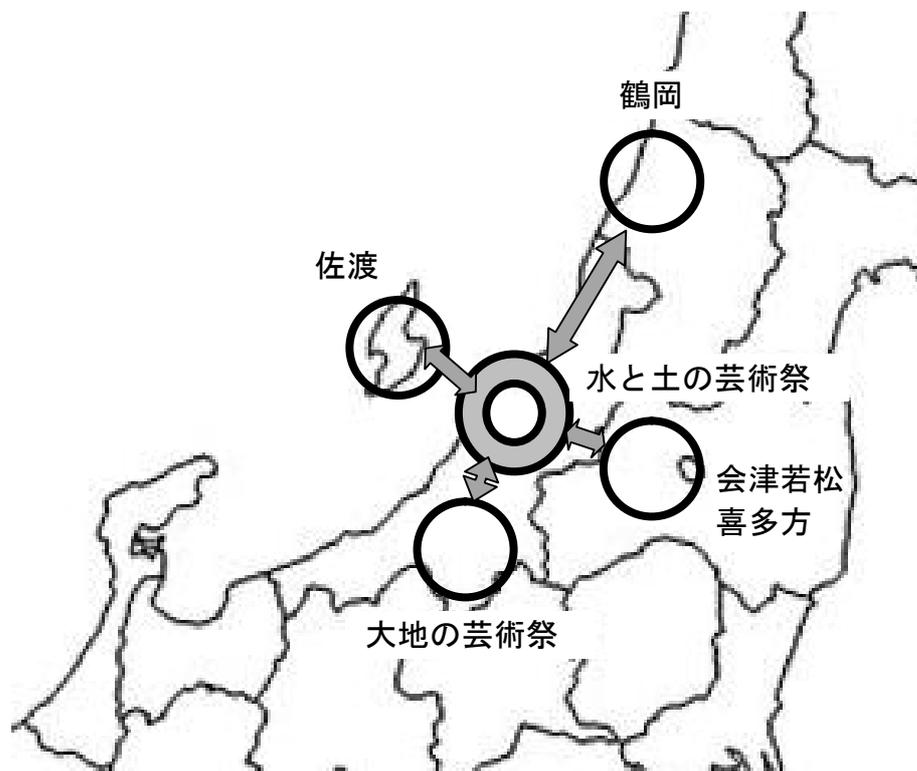
市内で行われるオリンピック文化プログラムや新潟開港 150 周年などの関連イベントとの連携をはじめ、岩室温泉のような市内の観光地およびマリニピア日本海などの観光集客施設とも連携を図る。また、アート作品と観光地を巡るツアーの造成や、アグリパーク、いくとぴあ食花などの施設と連携し、新潟市の農業と食文化をアピールするなど、相乗効果を発揮できる取り組みを行う。また、市内の公設・民間の美術館・博物館とも連携し、多様な文化を体験いただけるよう取り組む。

2 広域連携の取り組み

佐渡や鶴岡、会津若松など、既に広域観光として提携のある市町村と相互に協力し、誘客を図る。さらに、現美新幹線や日本遺産に認定された火焰型土器等の遺産群など、新潟県内の観光資源を最大限活用し、それらと連携することで、さらなる誘客と広域連携を促進させる。

特に、2018 年に開催される第 7 回大地の芸術祭や佐渡のアースセレブレーションは、同時期に県内で開催される芸術祭であることから、更なる連携を図り、相互に人が行き来する仕組みづくりに取り組む。

また、東アジア文化都市や交流のある都市、姉妹都市・友好都市等、更には全国の芸術祭開催都市との連携についても検討する。



VI 観覧料等

基本は観覧料金を徴収しない自由観覧とし、スタンプラリーやサービス特典付きのガイドブック販売などを検討する。ただし、一部イベントにおいて有料設定とする場合がある。

VII 実施・運営体制

(1) 基本方針

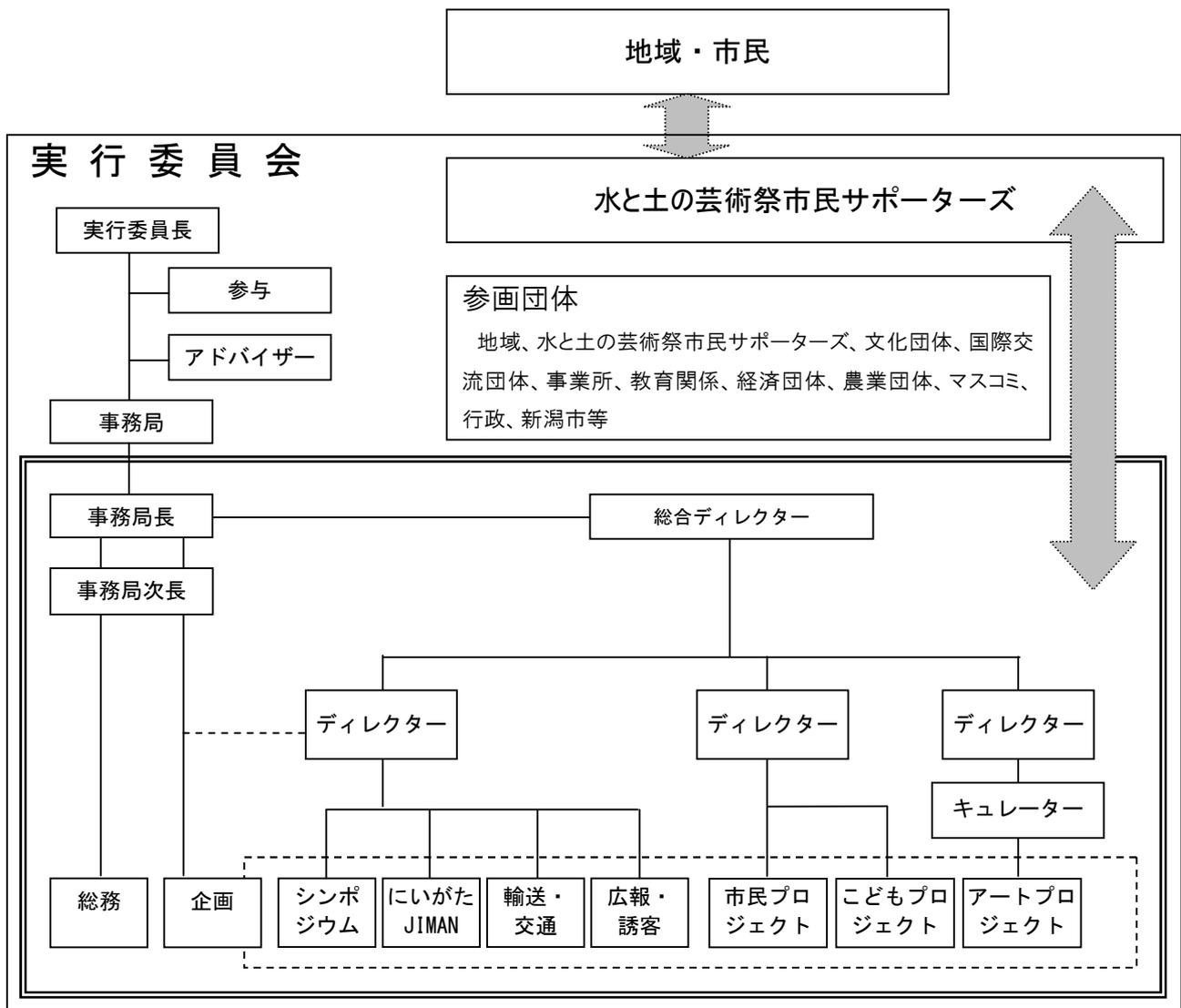
市民主体・地域主導の芸術祭とするため市民の皆様をはじめ、議会、自治協議会等からご意見をいただきながら事業を実施する。

(2) 組織

- ・様々な機関・団体から参画いただき実行委員会を組織する。
- ・実行委員会には、参与、アドバイザー、総合ディレクター、ディレクターを置く。
- ・事務局は、新潟市文化創造推進課が担う。総合ディレクターの監督のもと、個々の事業の連携を図る。
- ・区役所との連携を密にし、各種情報提供や協力依頼を行う。

(3) 水と土の芸術祭市民サポーターズとの連携

水と土の芸術祭市民サポーターズの企画・運営等への参画が重要であることから、事業を進めるにあたり、強力に連携する。



VIII スケジュール

| | 2017年 | | | | 2018年 | | | | 2019年 |
|-----------|-----------|---------------------|------------------|---------|-------|-------|-------|---------|-------|
| | 1月～3月 | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～ |
| 全体 | 基本計画作成 | 実施計画作成 | | | 芸術祭開催 | | | | |
| | | 市民意見聴取 | | 市民意見聴取 | | | | | |
| | 開催準備 | | | | | | | | |
| | 設立総会 | 実行委員会による事業推進 | | | | | | 実績報告／総括 | |
| 市民プロジェクト | | | 公募／審査 | | | | 実施 | | |
| アートプロジェクト | 作品展示候補地調査 | | | | | | | | |
| | | 作家交渉／準備 | 作品制作 | | | | 作品展示 | | |
| こどもプロジェクト | | コーディネーター組織化 | 実施準備 | | | | 実施 | | |
| シンポジウム | | 内容・出演者等の調整／プレシンポジウム | | | | | 実施 | | |
| にいがたJIMAN | | 企画・調整・準備 | | | | | 実施 | | |
| 広報 | | ホームページによる情報発信 | | | | | | | |
| | | | 事業周知宣伝(プレスリリース等) | | | | | | |
| | | 早々期広報 | 印刷物・各種メディアによるPR | | | | | | |
| | | | 誘客・セールス | | | | | | |
| | | | | | | | | 記録集作成 | |

Ⅸ 予算

【 収 入 】

(単位：千円)

| 区 分 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 計 |
|--------|----------|----------|----------|---------|
| 新潟市負担金 | 8,000 | 30,000 | 212,000 | 250,000 |
| 寄附・協賛金 | 0 | 0 | 8,000 | 8,000 |
| 助成金 | 0 | 0 | 1,500 | 1,500 |
| 各種販売収入 | 0 | 0 | 10,000 | 10,000 |
| その他 | 0 | 0 | 500 | 500 |
| 計 | 8,000 | 30,000 | 232,000 | 270,000 |

【 支 出 】

(単位：千円)

| 区 分 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 計 |
|------------|----------|----------|----------|---------|
| 市民プロジェクト | 0 | 0 | 45,000 | 45,000 |
| こどもプロジェクト | 0 | 0 | 7,000 | 7,000 |
| アートプロジェクト | 0 | 0 | 85,000 | 85,000 |
| シンポジウム | 0 | 413 | 1,587 | 2,000 |
| にいがた JIMAN | 0 | 0 | 16,000 | 16,000 |
| 主催イベント | 0 | 0 | 3,000 | 3,000 |
| 広報費 | 2,500 | 7,420 | 52,080 | 62,000 |
| 運営活動費 | 5,500 | 22,167 | 22,333 | 50,000 |
| 計 | 8,000 | 30,000 | 232,000 | 270,000 |

平成29年6月27日
新潟市文化政策課

第10回「千の風音楽祭」出演者の募集について

1. 内容 第10回「千の風音楽祭」に出演していただく3団体を募集。
各団体から「千の風になって」を含め2曲程度（7分以内）の
演奏等を披露していただきます。

【第10回千の風音楽祭】

平成30年1月8日（月・祝）午後1時30分から5時（予定）
新潟市民芸術文化会館りゅーとぴあ コンサートホール
監修・スペシャルゲスト 新井 満さん
ゲスト 菅原洋一さん

2. 応募資格 「千の風になって」が大好きな2人以上のグループ（最大
100人まで）で、ジャンルや、プロ・アマ、年齢、国籍は
一切問いません。
演奏以外のパフォーマンスでも応募可能。（ダンス等）
3. 募集期間 6月27日（火）から8月28日（月）※当日消印有効
4. 選考方法 演奏またはパフォーマンスを撮影した映像を提出していただ
き、映像による審査を経たうえで決定します。
5. 審査員 新井 満さん（作家、作詞・作曲家）
6. 出演団体決定 11月中旬（予定）
7. 費用
- (1) 参加費 無料
 - (2) 交通費 一部支給
- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 市内： | 1人当たり上限額 1,000円／1団体当たり上限額 30,000円 |
| 市外県内： | 〃 3,000円／ 〃 50,000円 |
| 県外： | 〃 5,000円／ 〃 100,000円 |
- ※ その他の必要な経費は各団体の負担とする。

お問い合わせ先

新潟市文化政策課振興チーム 担当：田村、山岸
電話 025-226-2563（直通）

第10回「千の風音楽祭」事業計画

| | |
|---------------------------|---|
| 1. 名称 | 第10回 千の風音楽祭 |
| 2. 趣旨 | <p>多くの日本人の心をとらえた名曲「千の風になって」一。この曲は本市出身の新井満さんが、ふるさとに住む大切な友人の悲しい出来事を悼んで作った作品である。</p> <p>新潟市ではこの曲を活用したまちおこしとして、『プロジェクト「千の風のふるさと・新潟市」』を立ち上げ、市民の皆さんとの協働によりさまざまな事業に取り組んできた。</p> <p>このプロジェクトの一つである「千の風音楽祭」は、出演者一人ひとりが感じる「千の風になって」への想いを様々なジャンルで自由に表現していただくステージである。歌の心である「命の尊さと愛の素晴らしさ」を未来の子どもたちに大切に伝えていくとともに、相手を思いやる、「やさしいこころのまちづくり」をすすめる新潟市の都市イメージを、全国へ発信することを目的とする。</p> |
| 3. 主催 | 千の風音楽祭実行委員会 (千の風・市民の会、(公財)新潟市芸術文化振興財団、(一財)新潟市音楽芸能協会、新潟市) |
| 4. 後援 (予定) | 新潟日報社 朝日新聞新潟総局 毎日新聞新潟支局 読売新聞新潟支局 産経新聞新潟支局 日本経済新聞社新潟支局 NHK新潟放送局 BSN新潟放送 NST TeNYテレビ新潟 UX新潟テレビ21 NCV新潟センター エフエムラジオ新潟 FM PORT 79.0 FM KENTO ラジオチャット・エフエム新津 |
| 5. 協力 | 七飯町(北海道)、西条市(愛媛県) |
| <出演団体募集について> | |
| 6. 応募資格 | 「千の風になって」が大好きな2人以上のグループ(最大100人程度まで) ジャンル、プロ・アマ、年齢、国籍は一切不問。 |
| 7. 募集期間 | 平成29年6月27日(火)～8月28日(月)(当日消印有効) |
| 8. 申込方法 | <p>以下を郵送または直接持参して申込。なお、応募関係書類・映像は返却しない。</p> <p>(1) 所定の「参加申込用紙」(千の風音楽祭のホームページからも募集要項・参加申込用紙をダウンロード可。)に記入し提出する。</p> <p>(2) 6カ月以内に演奏またはパフォーマンスを撮影し、7分程度に編集した映像(DVD-R またはVHS。これ以外の場合は直接事務局へ問い合わせ。)内容は出演時に発表する曲目と同じでなくとも構わないが、「千の風になって」の演奏は必ず含める。</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVD、VHS 及びケースには、団体名・曲名を明記する。 ・DVDの録画方式はDVD-Rのみとし、録画後に必ずファイナライズ処理を行う。 <p>(3) 団体のプロフィール・写真・会報など、メンバーや活動をアピールできるものを添付する。</p> |
| 9. 費用 | <p>参加費は無料。</p> <p>【交通費の一部支給】</p> <p>市 内：1人当たりの上限額 1,000 円／ 1 団体当たりの上限額 30,000 円 市外県内： 〃 3,000 円／ 〃 50,000 円 県 外： 〃 5,000 円／ 〃 100,000 円</p> <p>ただし、その他の必要な経費は各団体の負担とする。</p> |
| 10. 準備について | 演奏に必要な楽譜は出演団体で準備する。主催者で用意するのは、ピアノ(スタインウェイ・フルコンサートモデル)1台、譜面台(出演者多数の場合、要相談)、指揮者台。 |
| 11. 出演団体の決定 | <p>応募多数の場合は事前審査を行い、出演団体を決定する。</p> <p>(審査員：新井 満さん)</p> <p>平成29年11月中旬(予定)に新潟市ホームページで発表するほか、出演団体には別途通知。</p> |
| 12. 著作権 | 当日の演奏に関わる音楽著作権使用料は、主催者が負担する。 |

| <音楽祭について> | |
|----------------------------|--|
| 13. 日時 | 平成30年1月8日(月・祝) 開場：午後0時45分 開演：午後1時30分(午後5時終了予定) |
| 14. 場所 | 新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ) コンサートホール |
| 15. 主な内容 と出演者 (予定) | <p>・「千の風になって」の詞や曲の世界を様々なジャンルで味わう、盛りだくさんの3時間半。</p> <p>・第1部では、全国から公募した5団体から、「千の風になって」を含め2曲程度(10分間以内)のパフォーマンスを披露してもらう。素晴らしいパフォーマンスを披露した団体を表彰する。</p> <p>・第2部は、新井満さんとゲストをお招きし、スペシャルライブを開催する。</p> <p>【出演ゲスト】(敬称略)</p> <p>◆新井 満 本市出身の作家。「千の風になって」の訳詞・作曲により、平成19年日本レコード大賞作曲賞を受賞。</p> <p>◆菅原洋一 新井氏推薦。プロフィールについて「参考資料」参照。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>◆第1部 オープニング (10分) 応募者等演奏 5団体 (50分) 千の風市民の会 活動報告 (5分)</p> <p>◆第2部 千の風サミット (30分) 休憩 (20分)</p> <p>◆第3部 ゲストによるスペシャルライブ (70分) 表彰、全員合唱 (25分)</p> <p>【関連スケジュール】</p> <p>◆リハーサル 出演団体 1月7日(日)午後 ゲスト 1月8日(月・祝)午前</p> <p>◆交流会(予定) 1月7日(日) (交流会については、参加団体数の状況を見て開催を判断。)</p> |
| 16. 出演順 | 主催者が決定する。 |
| 17. 公募団体の 演奏曲及び 演奏時間 | 曲数は問わないが、「千の風になって」を含み、7分以内とする。曲間にナレーション等を入れる場合は時間に含む。舞台への昇降の時間は含まない。 |
| 18. 審査員 | 新井満さん、菅原洋一さん |
| 19. 表彰 | <p>千の風賞、千の星賞、千の光賞、千の雪賞、千の鳥賞 各1団体を表彰する。</p> <p>副賞として、千の風ゆかりの都市(北海道七飯町、愛媛県西条市、新潟市)から記念品を贈呈する。</p> |
| 20. 入場料 | 入場料 1,000円(高校生以下無料) |
| 21. 観覧申込 について (予定) | <p>(1)観覧希望者は事前に申し込み</p> <p>(2)(応募者多数の場合は抽選の上)入場整理券を郵送</p> <p>(3)当日、入場整理券を提示の上、入場料支払い</p> <p>・告知時期 11月下旬</p> <p>・申込受付 11月下旬～12月中旬頃</p> <p>・告知方法 新潟市ホームページ、「市報にいがた」、千の風音楽祭の広報ポスター</p> |
| <問合せ先について> | |
| 22. 問合せ先 | <p>千の風音楽祭実行委員事務局</p> <p>〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1</p> <p>新潟市文化政策課 振興チーム</p> <p>電話 025-226-2563 F A X 025-230-0450 E-mail bunka@city.niigata.lg.jp</p> <p>URL http://www.city.niigata.lg.jp/info/bunka/project_sennokaze/index.html</p> |

千の風音楽祭

出演者募集



第9回千の風音楽祭のりーとびあコンサートホール



●ゲスト・審査員
菅原 洋一 (すがわら よういち)
タンゴ歌手としてデビュー。

1967年「知りたくないの」が大ヒットとなり、以降2回連続NHK紅白歌合戦に出演。さらに、1970年「今日でお別れ」で日本レコード大賞を受賞。日本を代表するアーティストとして海外の有名歌手との共演や海外公演も有り、その地位を不動のものに、80歳から毎年新しいCDアルバムを作成・発売するなど、生涯現役をモットーに心の歌を歌い続けている。



●監修・審査員・スペシャルゲスト

新井 満 (あらい まこと)

作家、作詞作曲家、長野冬季オリンピック開閉会式イメージ監督など、多方面で活躍中。1946年新潟市生まれ。1988年「尋ね人の時間」で芥川賞を受賞。2003年に発表した写真詩集「千の風になって」と、それに曲を付け自ら歌唱したCD「千の風になって」は現在もロングセラーを続けている。同曲で2007年レコード大賞作曲賞を受賞。現在は北海道大沼湖畔の山小屋に移住し、羊を飼いながら創作を続けている。

photo by Kazumi KURAMAMI

sen no kaze ongakusai

音楽祭開催内容

日時 平成30年1月8日(月・祝)
午後1時30分開演
午後5時終演(予定)

会場 りーとびあ 新潟市芸術文化会館
コンサートホール
新潟市中央区一番堀通町3-2(白山公園内)

主催 千の風音楽祭実行委員会
(千の風・市民の会、(公財)新潟市芸術文化振興財団、
(一財)新潟市音楽芸能協会、新潟市)

後援 新潟日报社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟

協力 七飯町(北海道)、西条市(愛媛県)

募集期間
平成29年
8/28
月まで
当日消印有効

ジャンル

使用楽器
(楽器使用の場合にお書きください)

音楽祭で演奏(使用)を予定する曲目 ※現在の予定でかまいません。オリジナル曲の場合は「オリジナル」欄に○印を記入してください。

| 演奏(使用)曲目 | 作詞者氏名 | 作曲者氏名 | 編曲者氏名 | オリジナル | 時間 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 1. 千の風になって | | | | | 分 秒 |
| 2. | | | | | 分 秒 |
| | | | | | 分 秒 |

録画媒体(○印をつけてください) ・DVD ・その他()

| 収録曲目 | 作詞者氏名 | 作曲者氏名 | 編曲者氏名 | オリジナル | 時間 |
|------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 1. | | | | | 分 秒 |
| 2. | | | | | 分 秒 |
| | | | | | 分 秒 |

(音楽祭演奏(使用)予定曲目とすべて同じ場合は記入不要です)

団体のPRを一言
(メンバーや活動をPRできるものを別途添付してください)

※裏面にもご記入ください。

〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1
新潟市文化政策課内 千の風音楽祭実行委員会事務局
TEL.025-226-2563 FAX.025-230-0450
E-mail bunka@city.niigata.lg.jp

詳しい情報はこちらのホームページへ
URL <http://www.city.niigata.lg.jp/kanko/bunka/kokoro/sennokaze/index.html>
千の風のふるさと 検索

project 千の風のふるさと・新潟市 -since2008- やさしいこころのまちづくり

「千の風のふるさと・新潟市」のテーマへ寄せられた多くのアイデアをもとに様々な取り組みが進んでいます。

- 千の風音楽祭(平成20年度～)
- 千の風ザミット(平成20年度～)
- 「千の風になって」のモニュメント建立(平成24年度)
千の風・市民の会が中心となり募金活動を行い、多くのみなさまがご協力くださいました。新潟市中央区「みなと・さかん」(新潟市歴史博物館近く)に建立しました。
- 新井満の世界(平成20年度～平成23年度)
新井満さんの作品を紹介する企画展を開催しました。

「千の風になって」をモチーフに新たなまちおこしに取り組み3都市が連携しています。

- 新潟市
「千の風になって」のふるさと
新井満さんの出身地であり、この名曲が誕生する物語は新潟市から始まりました。
- 北海道七飯町(ななえちょう)
「千の風になって」名曲誕生の地
大沼国立公園は、素晴らしい自然景観と静けさに包まれたところです。この大自然の中で、この名曲が誕生しました。
- 愛媛県西条市
「千の風になって」手紙のふるさと
この名曲を広く世に知らしめた歌手の秋川雅史さんの出身地です。千の風になったご大切な人への想いを綴る手紙を定期的に全国募集しています。

歌の心を未来に伝えたい

名曲「千の風になって」-その誕生の物語は、新井満さんのふるさとである新潟市から始まりました。

新潟市は、歌の心である「命の尊さと愛の素晴らしさ」を未来の子どもたちに大切に伝えていくことを目的に「千の風音楽祭」を開催しています。

「千の風音楽祭」では、千の風の産みの親である新井満さんと共に素晴らしいステージを創り上げていただく出演者を広く全国から公募します。

「千の風のふるさと」新潟市で、あなたの感じる「千の風になって」を自由に表現してみませんか。たくさんのご応募をお待ちしています。

【出演者募集要項】

| | |
|----------------|--|
| 募集期間 | 平成29年6月27日(火)から平成29年8月28日(月) |
| 応募資格 | 「千の風になって」が大好きな2人以上のグループ(最大100人程度まで)。ジャンル、プロ・アマ、年齢、国籍は一切問いません。演奏以外のパフォーマンスでも応募できます。 |
| 募集団体数 | 3団体 ※応募多数の場合、審査を行い、出演団体を決定します。(なお、このほか北海道七飯町、愛媛県西条市から各1団体出演します。) |
| 賞 | 千の風賞、千の星賞、千の光賞、千の雪賞、千の鳥賞 各1団体を表彰します。なお副賞として、千の風ゆかりの都市(北海道七飯町、愛媛県西条市、新潟市)から記念品をご用意いたします。 |
| 各賞発表 | 平成30年1月8日(月・祝)「千の風音楽祭」会場 |
| 参加費用 | 参加費は無料です。公共交通機関利用またはバス借上の場合、交通費の一部を支給します。(以下、上限額) 市内(※学校であれば所在地、一般団体であれば主な活動場所) : 1人当たり1,000円 / 1団体当たり30,000円 県内市外(※同上) : 〃 3,000円 / 〃 50,000円 県外(※同上) : 〃 5,000円 / 〃 100,000円 その他の必要な経費は各団体の負担とします。 |
| 著作権 | 当日の発表に関わる音楽著作権使用料は、主催者が負担します。 |
| その他注意事項 | 演奏に必要な楽譜、楽器は出演団体が準備してください。主催者で用意するのは、ピアノ(スタインウェイ・フルコンサートモデル)1台、譜面台(出演者多数の場合、要相談)、指揮者台です。 |

申込方法

以下を、平成29年8月28日(月)までに郵送または直接持参してお申し込みください。郵送でのお申込みは8月28日(月)当日消印有効とします。

[1] 6ヶ月以内に演奏またはパフォーマンスを撮影し、7分程度に編集した映像(DVD-R以外の方は事前にお問い合わせください)を提出。
●内容は出演時に発表する曲目と同じでなくとも構いませんが、「千の風になって」は必ず含めてください。
●DVDの種類はDVD-Rのみとし、録画後にファイナライズ処理を行ってください。
●映像を入れたケースには、団体名及び曲名を明記してください。
●不明な点は、お問い合わせください。

[2] 団体のプロフィール、写真、会報など、メンバーや活動をPRできるもの。
※[1]～[2]は返却しませんのでご了承ください。
※音楽祭ホームページからも、募集要項・参加申し込み用紙をダウンロードできます。

提出いただいた映像をもとに、新井 満さんによる審査を経たうえで決定します。平成29年11月中旬(予定)新潟市ホームページで発表するほか、出演団体には別途通知します。

出演団体の決定

「千の風音楽祭」参加申し込み用紙

受付番号: _____

申し込み年月日 平成29年 月 日

フリガナ _____

団体名 _____ 出演予定人数
男性 人
女性 人
合計 人

フリガナ _____

代表者氏名 _____

連絡先 フリガナ _____
氏名 _____
(代表者氏名と異なる場合のみご記入ください)
住所 〒 _____
電話番号(携帯可) _____
FAX番号 _____
電子メール _____

●この音楽祭を知ったきっかけ(該当項目に○をつけてください。複数可)
・市報にいがた () ・新聞記事(新聞名: _____) ・雑誌(雑誌名: _____)
・インターネット () ・テレビ () ・ラジオ ()
・ポスター、リーフレット(どこで見ましたか? _____)
・その他(_____)

※裏面にもご記入ください。

【音楽祭開催内容】

| | |
|------------------|---|
| 開催日時 | 平成30年1月8日(月・祝) 午後1時30分開演、午後5時終演(予定) |
| 会場 | りーとびあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール 新潟市中央区一番堀通町3-2(白山公園内) |
| プログラム(予定) | 第一部 ・オープニング(10分) ・応募者等演奏(50分) ・千の風・市民の会活動報告(5分) 第二部 ・千の風ザミット(30分) ・休憩(20分) 第三部 ・ゲストによるスペシャルライブ(70分) ・フィナーレ(表彰・全員合唱)(25分) ※出演順序は、主催者が決定します。 ※リハーサルは1月7日(日)の午後を予定しています。 |
| 各団体発表時間 | 曲数は問いませんが、「千の風になって」を含み、7分以内とします。曲間にナレーション等を入れる場合は時間に含みます。舞台への昇降の時間は含みません。 |